

『ばんざいじっさま』だより(その2) この場面は日本人の中国人に対する行為の感想集です。

- はじめほやりたくなかったも、まわりの人にえいさようされて、みんなへんになつたと思います。(宮西)
- このころの人ほとってもばんざいやくただと思います。(長田)
- このころの日本人はあぶくばんこくだと思ふ。人に対して石をぶつけて楽しんでいゝなんてどういふ神けいをしていゝのかあしげ。(服部)
- 本当に同じ人間に對してすることじゃないと思ふ。でもこれがあたりまえだつたんだから、あつそろしい時代だと思ふ。(中山)
- 子どもほどんな気持ちで石を投げたのたろう。(中山)
- とつばんこくだと思ふ。ほんとにほくの肩の人ほとあつていゝおこいひです。(藤川)
- 日本人ていゝのはものあぶくばんこくだと思ふ。みんなして中国人をいゝめて...まして子どもまでそんなことをするなんて信じられぬ。(辻)
- 同じ人間なのになぜこゝまで... (加藤)
- こんなにひどいあつかひ方をすゝなんて、なんか考えられぬと思ふ。(中谷)
- どうして同じ人間なのになぜ石をぶつけてたりするのたろうと思つた。(藤田)

- 日本人ほばんこくだと思ふ。(川畑)
- このころ日本の人たちは中国人を人とは思はずあちやくちやくにしたりしてた。(田中)
- 戦争のころほみんなばんこくだと思ふ。(佐野)
- 子どもが「チャンコロ、人ごらし」と言つていゝけれど、自分たち日本人だつて同じようなことをしてゐるのに、どうしてそれに気がないんだらう。(西田)
- 何人でもかんたんに殺せる日本人の気持ちがあつたと思ふ。(田中)
- 日本人は中国人と立場が反対になつたときのことを考えないのかな。私がそこに行つたら、殺されてもいいからメチャメチャ言つてやる。(西田)
- 戦争のために日本人ほ人間の心ほ失ひ、あちやくちやくやつたんだと思ふ。(新井)
- なに考えてんぬんやろうと思ふほばんこくだ。(岡田)
- 日本人ほ中国人にわるいことをするんだと思ふ。(米川)
- 中国人が逃げぬのも無理がないと思ふ。(林)
- なぜ日本人は中国人を殺したのかと思ふ。(吉田)
- やつぱりあかしの日本人がしてたことを読んでほろがたふました。(小佐野)
- 同じ日本人としてほあかしい。よくあんなことをする。血も涙もぬゑのかバカヤロ。でも村人に中国人ほ悪いとおもわせたやつはもつとわるい。同じ目にあわせてやりたひよ。(大橋)

- こんな人たちが私たちといふ日本人なんて考えられぬ。私だつたらこゝに反対すると思ふ。(山口)
- 同じ日本人が中国人にそんなことをしてきたなんてあつてくやし。中国人にあやまりたい。日本人は中国人のことをあつろつろの思つてたなんて本当にはあつた。(猪俣)
- この話に出てくる日本人はなんてかわいさうなことをするのかなと思ふ。私は今だから言ふのかわいさうないけれど、もしこんなことがあつたら中国人のみかたをすゝと思ふ。(中山)
- こんな人たちの中であつたなくやつてゐる人もあつたと思ふ。(西本)

提出された2人の感想の一部分ずつを紹介した。みんなの感想の通りだと思ふ。たしかに、あのころの日本人はひどいことをした。西田(宮)さんの腹立ち、大橋さんのいかりも全く同感だ。大橋さんが言う様に、村人に思ひこませたやつはもつと悪い。今だから言ふのかわいさうないけどもいゝ松山さんの言葉もあつた。みんなはかなり戦争のしくみを理解してゐるし、同じ日本人としてほあかしく思ふ気持ちは実に正常だ。(その中に自分の祖父母あつては父母も含まれてゐることを忘れぬな。)

しかし、ぼくは考えてしまうのだ。これは、あのころの日本人の内題なんだらうか。今の日本人は、とりわけ自分自身は...。

ちよびー

『ばんざいじっさま』だより(その3) この場面のつづき。じっさまはあつたらうかという予想です。

中国人を殺したつがまえた 13人 殺したつがまえた(殺したつがまえた)も含む。

- 山口、米川、田中、川畑、中谷、藤田、辻、藤川、中山、森本、長田、若本、西本
- じっさまは、おれを驚かすせつまた一歩前へ出た。「こら、チャンコロめが。天子さまにさしあづかるじゃがいもに口をむけて。」
 - じっさまは、男の目に竹やりの先をさした。— ザクッ —
 - それが、男の目には当たらず、地面に竹やりをつまましていた。「くそッ」
 - じっさまは竹やりをぬきとり、中国人をさつた。中国人は冷たくあつた。(山口)
 - そのあと、中国人が「助けてくれ」と中国語を言つたが、万生じっさまは関係なくさそうとしたが、じゃがいも畑で中国人を殺したりしたら、天子さまにさしあづかると思ひ、まづ立せてじゃがいも畑の外に出させて、そして先にじゃがいも畑があるかといふかを見たら、全部あつたので、安心し、中国人の心どうぞ一つにし、村役場の前に持つて行つて、みせしめにした。そして、自分が殺したんだとて言つてまたいゝ。(田中) ... 一羽が日露戦争の勇士

『ばんざいじっさま』だより(その4) 中国人を声にかけてあとどっつたかの予想です

「ハッピー・エンド」型 にかしてやる --- 25人.

- たおけて、いっしょに住んだ。(佐保野) ... これ最高にハッピー・エンド
- じっさまは、自分がたがわれるといけないから、石で自分の頭をたたいて、中国人にかいたのたしたかめたら、「助けてくれ、中国人にやられた」と言う。(山口) ... ちよと現実的になってきた。
- じっさまは中国人が殺されないように、日本人のかっこうをさせてあげた。(新村) 猪砂さん同、息子の服をやるのたがった。
- じっさまはがい骨みたいになっている中国人が日本人みたいに見えて、戦争に反対する気持ちか心にでてきた。そして、じっさまは中国大陸で戦争に行っている日本人が、ここにいる中国人みたいになっていると思い、戦争に反対した。(藤田) ... これは正しい。横士も、自分で役場に行き、今までのことを全部話して、戦争はやめようかと力をつくした。しかし、たいていみんなこんなことして。

・その他の人たち、坂本、田村、松山、川畑、北、吉田、神力、乾、小佐野、西本、宮田、中谷、林、米川、大野、鈴木、大橋、岡田、服部。

「ただいばさきさんタイプ」 中国人が死ぬのです。

- 次の朝、中国人のいり山にのぼってみると、中国人はさきで心どうを一つ死んであった。(中山) ... 自殺のおね。

- じっさまは、ぼつと我にかえり、目の前の中国人を見た。中国人は満足そうな顔をして息たえていた。(西田) ... かかいて。
- よく目こへ行ってみると、もう中国人はいなかった。--- 中国人の死体が近くにあった。(加藤) ... 死因は何か。
- 中国人にいもをひたすらくわしてやった。けれど、中国人はたべ過ぎて死んでしまった。(藤川) ... ありうな。

「アイス」型 小ざんてオミテ下さい、というタイプです。

- じっさまの言葉が通じたのか、中国人は涙を流しながら、ボロボロ食べだした。とうぜん、中国人の顔色が変わったかと思うと後ろに村のむんが立っていた。でも、その時のじっさまの心はへたへたになっていたので、逃げもかくもしなかった。中国人は日本人に気ばいていてボロボロ食べ続けた。(北田) ... マア、このタイプ?

「性格 ぬけるわタイプ」 思わぬどんでん返しがあるのです。

- じっさまは、中国人を見ているとたぶんかわいそうになってイモを食べさせていたけど、敵を助けるといひことをしる子がこわくて、イモで腹いっぱいになると、役場につれて行ってみんなの前でさらしものにした。(吉本) 中国人を助けてやるといひ、屋に居させているのであ。
- 中国人がちよつと外へ出てゆくりしてると、それを木のかけから見ていた日本人がけいごんに知らせ、そしてけいかんがその小屋へ走っていった。それを知ったじっさまは、竹やりを持って小屋へ行き、中国人をけいかんが来るまでに殺して、自分

が有名になるようにした。(田中) ... おねおねい、言うことなし。

「オカルトごのみタイプ」 悲劇的に終わるので。

- そのあと、万造じっさまは、中国人はどうせこのうちに見つかり、殺されてしまうと思い、万造じっさまは中国人がはらいつぱいになってから、にかしてやろうと思った。そして、中国人をにかすのを日本人に見つかってしまい、中国人と万造じっさまは殺されてしまった。(長田)
- じっさまは、中国人を自分の家の近くの小屋に住ませた。そして村の人たちに見つかって、中国人を殺し、かきましたじっさまは、さらしものになった。(田村) ... 血も涙もないのはこのことだ。

さして、本当は ... などといながら、1時間めの授業がやがる。

最後の給食を屋上で

3月17日(月曜日)は、小学校での最後の給食になります。そこで、ちよがり気分を変えて、屋上で給食会なんをやってみてはどうかと思うのただけ。いかかなものたろうか。何とかと煙は高い所へのぼると言うけど、あれはのぼれんやつのおけおしめ。(?) 春の大和さんでおながめながら、最後の食事をしましょうや。

3ひきの赤ちゃん元気です!

3月3日の夕方誕生したうさぎの赤ちゃん。綿毛の動きから生きていることだけは確かだったのであが、その数えどわからずにまていました。ところが、きのうの昼ごろ、綿毛をはねのけて動いている赤ちゃんの姿をついに見たのです。まっ白なのが2ひき、白に黒いものあとの1ひき、合計3ひきの姿を確認しました。みんな元気そうおね。うまく育つてくれたらいいおね。

卒業までに、子うさぎの名前をつけてほしいおね。

それから、卒業してからのことだけ、子うさぎのことおねし。当然おねが責任を持って育てたいと思っています。その後のことについては、相談の上で決めたいけれど、オスとメスおねがいっしょに生活したいと思おね。

あすの予定

- 1 } ばんざいじっさま、物語語おねわりの場面へ。---
- 2 }
- 3 全校でおびかけの練習。
- 4 学年でおびかけの練習。
- 5 遠足会の歌の練習、二スぬり、放課後、二スぬり、たれかてどうてや。 また、あした...

『ばんざいじさま』だより(その5)

最初の場面とはずいぶん変わりやうの村人たちに対する感想です。ほとんどの人は、村人のことを、「つめたい」「勝手すぎる」「血も涙もない」「人間の心がない」---などと書いています。ところが、次のように書いている人た方もいます。どう思いますか。

- 一枚目の折で、じっさまにばんざいをたのみに行くのは、じっさまにばんざいをしてもらおうと、必死で帰ってくるような気がするからだ---とかいてあったけど、それは(お国のために死んでこいよ)という気持ちではないからだと思う。そうすると、どういふ人の中でじっさまはかわいいやうに---と思っても、自分がじっさまのようなのにあうのがいやで、じっさまの家へよりつかない人がいるだろう。じっさまと同じことを思っている村人はいっぱいいるだろう。(猪俣)
- 村人は、万造じっさまのところへ行きたいと思いません。(田村)
- 村人はやっぱり戦争はいやだと思ってると思う。だから、じっさまにばんざいをしてもらってるんだと思う。でも、やっぱり口には出せないから、じっさまが中国人をにがしたことをした時、じっさまの小屋へよりつかなくなったと思う。(中谷)
- 村人はやっぱり大きな権力に動かされてるんだなあ。今の

村人は、憲兵隊たちのいみせ(め、自信)にまされてる。これによって仲間を助けるといふのが自信にまされてる。しかし村人の本当の気持ちはどうなるんだろう。まっとうじっさまをあわわかに思っている人もいるんじゃないかと思う。(中山)

- 最初は村人もじっさまとって親しくしてくれた。それはそれでいいと思う。でも、あとの方が全然声かけないなんて、私もよく考えたけど、今からみればいい子と思う。それと村人もじっさまと話したいと思ってると思う。でも本当にしようか？ と思う。---考えてみると中国人を悪く村人に思わせる人が悪い。もしたう万造じっさまもこんなめにあわなかったし、村人も白い目でみることはないと思う。それに中国人もみんなひいめにあわれないと思う。(大橋)
- 村人の中で万造じっさまのようないい性格、てい子人加い子と思いません。でもそのことを言ってしまうと自分が万造じっさまのようにならなかけうれてしまうのがこわいのだろうなあ。

もし、自分が当時の村人だったらどうしたでしょうか。あるいは、当時の村人に何かできたでしょうか。(長田)

『ばんざいじさま』だより(その6)

いよいよラスト・シーンの予想です。

『や、やっぱりハッピー・エンド』がええなあ

- あれからじっさまは、やさしい村人がいて争って居てもらう。その村人につかわれて別の村へ逃げた。その別の村の人はずいぶんばかりでその村では最後まで楽にくした。
・同じ国の中になんかあるかな。(山田)
- じっさまが小屋の中でじろんと寝て居ると、たれかがか戸をたたいた。じっさまは憲兵が来たつちめに来たと思ひ、「あうはなあんも悪いことしとじろんか！」とかいってばいじになった。すると戸がすこしあいて、たれかが顔を見せた。「じっさま、いっさま...ばんざいやつてくれ」それは小ざい声だったけれど、いっさまはしっかりと耳に入れた。いっさまはその村人の中へ入れ、ばんざい一生けんめいにしてやった。村人はお返しに薬草とほうたひ、それと大根やいもを置いて帰っていった。それからちよくちよく村人の来る数がふえ、みんな口を言った。「いっさま、あうたち、いっさま百信じさまいっさまはうしろやうにぼぼんだ、その日に涙が染みついてた。
・猪俣さんもほほ内緒、山田、小佐野さん。(山田)

『じっさま死んで、村人、じっさまのいひ知り』

- そして戦争が終わった。日本が負けた。じっさまはあつ朝、「百姓にじやかいもをわけてやつてなんでもいんでー」とさけんたま息を吐きとった。じっさまのはかひはた水がうめたのか、じやかいもはたけのまん中にたつてた。(中谷)
- ・北田さんもおほい、林さんのまじつさまのぼとぎの像がたつ。藤川くん、西野さん村人わかる。月取くん山口さんははかぬ。若本くんは拓木の自殺。桂さん、加藤さんは死なずに新こつた。
- 死んでなあかつ、わかつてもうぞう 最悪のパターン。
○ --- ピーポーピーポー --- また憲兵隊のりやカーが万造じっさまの家へやってきた。すると、村人たちも万造じっさまの家へ集まって来た。万造じっさまは(村人たちも集まり、憲兵隊も来たので、こじかやいとあういすましたように---)「あう非国民でわっ！ あのシラたつてアカばんかでわっ！ あうもあうも百姓なんだあ！」とさけんた。憲兵隊は万造じっさまをりやカーにのせてそのまま行つてしまった。村人ははやーとしてとれをながめていた。(新村)
- ・藤田くんもどういふ感じ。田中くん、中山くんは許すなから理解さぶが、死んでいくのであ。
- さて、本当は--- なにと言いな、今日も一時肩めがけはいる。ちやうど、北田さんの鏡人だろなあ、本物を見てはくし。